

「教育と公共」研究部会（第39回）

日時：2022年9月16日（金）14:00～17:00

場所：野間教育研究所（対面）＋オンライン

出席：上野正道・浅井幸子・田嶋一・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員

山口和人所長・川上智子（野間教育研究所事務局）

欠席：狩野浩二兼任研究員・吉久知延

内容：グニラ・ダールベリ氏を招いての研究会を開催

- ・ **Gunilla Dahlberg** ストックホルム大学子ども若者研究学部名誉教授
ストックホルム大学で幼児教育と社会政策の調査研究を行ってきた
- ・ 1980年代からレッジョ・エミリア市と密接に協力して幼児教育の研究を行っており、彼女たちがローリス・マラグッツィとともに開始したストックホルム・プロジェクトは、30年たった現在も、参加する就学前学校を拡大して継続している
- ・ また、ダールベリは、専門家としてスウェーデンの教育政策に関与しており、最初のナショナル・カリキュラム「就学前学校カリキュラム（Lpfö 98）」の策定に携わった
- ・ 2005年から2016年にかけて、ピーター・モスとともに、Routledge社の「幼児教育における論争（Contesting Early Childhood）シリーズの編者を務め、ポスト構造主義、ポストヒューマン論の思想に基づく幼児教育思想の発展に寄与している
- ・ 現在も、スウェーデンの国内外で、レッジョ・インスパイアのネットワークを指導しつつ、その理論的な探求を行っている
（参考：『「保育の質」を超えて』グニラ・ダールベリ、ピーター・モス、アラン・ペンス著 浅井幸子監訳 ミネルヴァ書房 2022年）

・ 次回研究会 10月11日（金）13:30～